

重篤な疾患を持つ子どもの親と医療者の 信頼関係構築のあり方 —子どもの治療方針決定の場面を中心に—



18トリソミーの会の活動も今年で10年目となりました。今回は従来のセミナーの拡大版としてシンポジウムを開催します。

まず第一部では、古庄知己先生に、「18トリソミー児へのよりよい医療の確立をめざして」と題して、ご講演いただきます。次いで第二部では、渡辺博先生、岡田由美子先生にパネリストとしてご参加いただき、各々のお立場から親と医療者の合意形成の現状と課題についてお話いただきます。そして、会場の皆さんとディスカッションを行ないます。重篤な疾患を持つ子どもたちにとって「より善き治療」とは何か、どうすることが「子どもの最善の利益」となるのかを参加者の皆さんとともに考えてみたいと思います。

日時：2010年9月11日（土）13：00～受付 13：30 開演
場所：タワーホール船堀（〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1）
シンポジウム会場：401会議室 休憩室：4階和室（401会議室隣り）
参加費無料、事前申し込み不要

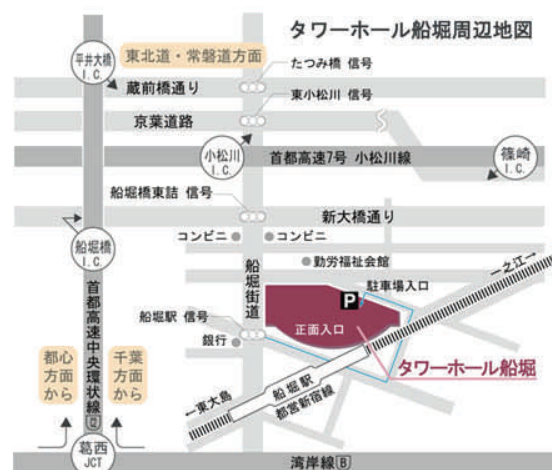


◇パネリスト

渡辺博（獨協医科大学病院総合周産期母子医療センター長）
岡田由美子（加古川市民病院小児科臨床心理士、周産期心理士ネットワーク）
古庄知己（信州大学医学部附属病院遺伝子診療部講師）
◇司会・コーディネーター
櫻井浩子（18トリソミーの会代表）

◆タイムスケジュール◆

- 13：00～13：30 受付
- 13：30 開会
- 13：35～14：25 第1部 「18トリソミー児へのよりよい医療の確立をめざして」 講師：古庄知己
- 14：25～14：40 質疑応答
- 14：40～15：00 休憩
- 15：00～16：00 第2部 「重篤な疾患を持つ子どもの親と医療者の信頼関係構築のあり方—子どもの治療方針決定の場面を中心に」
- パネリスト：渡辺博／岡田由美子／古庄知己 コーディネーター：櫻井浩子
- 16：00～17：00 全体ディスカッション
- 17：00 閉会



◇会場までのアクセス

<電車を利用の場合>

- ・新宿駅より「都営新宿線」にて本八幡方面へ約30分。船堀駅下車、徒歩約1分。
- ・東京駅より「JR総武快速線」馬喰町駅にて乗換。馬喰横山駅から「都営新宿線」で船堀駅下車、徒歩約1分。

<車を利用の場合>

- ・都心・千葉方面から：湾岸線（B）葛西JCTを経由、首都高速中央環状線（C2）に入り、船堀橋I.C.を下りて新大橋通りへ。船堀橋東詰信号を右折して船堀街道へ入り、船堀駅交差点を左折、都営新宿線の高架手前左側になります。
- ・東北道・常磐道方面から：首都高速中央環状線（C2）平井大橋I.C.を下りて蔵前橋通りへ。たつみ橋信号を右折して船堀街道へ入り、船堀駅交差点を左折、都営新宿線の高架手前左側

◇主催：18トリソミーの会 <http://www.18trisomy.com/>

◇共催：立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点、立命館大学生存学研究センター

◇問い合わせ先：18トリソミーの会 メールアドレス questions@18trisomy.com